

令和8年度収支決算書

(団体名 〇〇地区町内会)

記入例

(単位：円)

1 収入の部

予算額は、申請書に記載した額になります。

科目	予算額	決算額	増減	内訳
郡山市補助金 (a)	90,000	(a) 90,000	0	400円×100人+50,000円
〇〇〇〇金	10,000	10,000	0	〇〇〇〇から
△△町内会補助金	15,000	10,000	-5,000	〇〇〇〇から
寄付金	5,000	0	-5,000	
合計 (d)	120,000	(d) 110,000	-10,000	

決算額は、実際に入・出のあった額になります。

2 支出の部

	科目	予算額	決算額	増減	内訳
補助対象経費	報償費	40,000	65,000	25,000	アトラクションの謝礼に25,000円 △△△△に40,000円
	印刷製本費	20,000	10,000	-10,000	チラシの印刷に8,000円 △△△△に2,000円
	消耗品費	14,000	10,000	-4,000	〇〇に8,000円 △△△△に2,000円
	通信費	10,000	4,000	-6,000	切手代に4,000円
	賃借・使用料	5,500	1,000	-4,500	会場代に1,000円
	委託料	0	0	0	
	手数料	500	0	-500	
	小計 (b)	90,000	(b) 90,000	0	
補助対象外経費	人件費	6,000	6,000	0	協力委員 3,000円×2人
	食糧費	14,000	11,400	-2,600	飲み物代 150円×12個 弁当代 800円×12個
	その他の経費	10,000	2,600	-7,400	△△△△に2,600円
	小計	30,000	20,000	-10,000	
合計 (e)	120,000	(e) 110,000	-10,000		

内訳も記載して下さい。

返還額が出た場合は、実績報告書の「補助金の額の確定額」の記載を注意してください。

(収支チェック欄)

○ 決算額 郡山市補助金額…(a)

決算額 補助対象経費小計額…(b)

返還額…(c)

(a) 90,000

—

(b) 90,000

=

(c) 0

※ (c) がプラスの場合、この額が市への返還金となります。

○ 決算額 収入合計

決算額 支出合計

残金

(d) 110,000

—

(e) 110,000

=

(f) 0

※返還金が発生する場合、(f)が(c)の額を上回っていること。